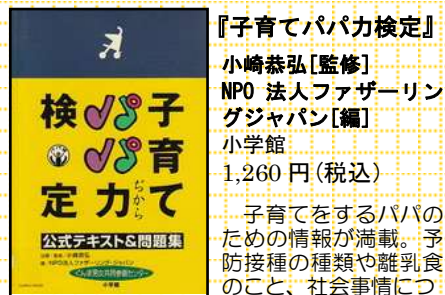


図・書・紹・介

◆当センター「図書コーナー」にある本を紹介しています。

【貸し出しのお約束】

◆一人5冊まで ◆期限：2週間



『子育てパパ力検定』
小崎恭弘[監修]
NPO 法人ファザーリング
プロジェクト[編]
小学館
1,260円(税込)

子育てをするパパのための情報が満載。予防接種の種類や離乳食のこと、社会事情についても問われます。およそ200問。これからパパになる人、必読です。



『女性の権利の歴史』
辻村みよ子
金城清子
岩波書店
2,940円(税込)

「人権」は、以前男性だけの権利だった。女性の権利が排除され続けてきたのはなぜか？人権の観点から男女の課題を展望する一冊です。



『ただいま乳房再建中！』
川野すみれ[絵・文]
Gakken
1,890円(税込)

イラストレーターである著者の闘病絵日記。乳がんの事実をなかなか受け入れられなかった告知日の様子から乳房再建を希望に病気に前向きになっていくまでの課程が丁寧なイラストと文章で表されています。

貸・室・案・内

●男女共同参画社会の推進に寄与する団体については、使用料が半額になる場合があります。詳しくはお問い合わせ下さい。

区分	使用料		
	午前 9:00~12:00	午後 13:00~17:00	夜間 18:00~21:00
大研修室 (定員120人)	3,500円	3,500円	3,500円
中研修室 (定員60人)	1,600円	1,600円	1,600円
小研修室 (定員14人)	800円	800円	800円
和室 (8畳)	700円	700円	700円



●大研修室●



●小研修室●



●中研修室●



●和室●

※土・日・祝日の夜間貸し出しはありません

予約方法

●電話で仮予約をお願いします。その後、書面により正式に申請していただきます。

電話 027-224-2211

交・通・案・内



●お車で越しの際の駐車については、県庁内「県民駐車場」をご利用ください。

●休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は直後の平日)
12月29日~1月3日

●所在地
〒371-0026
群馬県前橋市大手町1-13-12
電話 027-224-2211 Fax 027-224-2214
メール: sankakuse@pref.gunma.jp
http://www.pref.gunma.jp/index.html



女性相談センター

ひとりで悩まずご相談ください

●群馬県女性相談センター
(配偶者暴力相談支援センター)
電話 (027) 224-4480
●月~金 9:00~20:00
●土・日・祝 13:00~17:00

DV 法律電話相談

(事前に電話相談が必要です)

水曜日 13:00~14:30

所在地：ぐんま男女共同参画センター内
内容：相談(面接を希望される場合は事前にお電話ください)

ぐんま男女共同参画センター センター通信 No.11

【発行】群馬県ぐんま男女共同参画センター
【発行日】平成22年12月15日

次号のセンター通信は平成23年3月発行予定です。

●センター通信について、複数の送付を希望する団体があれば、希望部数をご連絡下さい

ぐんま男女共同参画センター

センター通信No.11

とらいあんぐるん

●●●ぐんま男女共同参画センター●●●

群大工学部長が
女子高生に直接指導！

～富岡東高で理工系の魅力を伝える
講義と実験～



板橋英之教授

10月25日(月)、県立富岡東高校(富岡市富岡)で、群馬大学工学部長による授業「渡良瀬の銅を調べよう」を開催しました。

女性の理工系分野への進出については、世界の先進諸国と比べて日本はかなり遅れています。その要因のひとつが、我が国で広く深く浸透してしまっている「女子は文系」という一般的な考え方。

そこで、女子高校生に理工系の魅力を伝えることを目的に企画したのがこの催しです。群馬大学の工学部長を務める板橋英之教授に講師をお願いしたところ、「女子生徒に実際に実験をしてもらって理工系の魅力を実感してもらいましょう。それが女性の理工系進出につながれば大変嬉しい」と快諾をいただき、女子校である富岡東高校とぐんま男女共同参画センターの共同開催により実施しました。



対象は同校2年の理系生徒41人。板橋ゼミのゼミ員である学生5人も実験の助手として会場を訪れました。

まず行われた講義では、群馬大学工学部がある桐生市内を流れる渡良瀬川の銅が題材。どんな川にも銅や水銀などの物質は含まれていますが、ポイントはその濃度で、一定基準を超えると人体に悪影響を与えることをパソコンを使ってわかりやすく説明しました。

約20分の講義に続き、本日のメインである、土に含まれた銅の濃度を調べる実験がスタート。生徒たちは9つのグループに分かれて、渡良瀬川の上流部にある草木ダムから採取した土に、①「純水」②「硝酸」③「木片とセメントを混ぜた純水」を混ぜて、それぞれの銅の濃度を測定しました。さらに、②の硝酸から測定した銅の濃度から、草木ダム全体で金額としていくらか相当の銅が存在するのかを各グループごとに算出。発表された金額は750万円から7,500万円までさまざまでしたが、正解は5,000万円。

板橋教授が「では、草木ダムから銅を採取する事業を起こしたいですか？」と質問したところ、9グループ中8つが「起こしたくない」と回答。その理由は「機械や人を使ってダムから銅を採取しても採算がとれない」という発言に、板橋教授もほほ笑みながら「私も同じ理由でやりません」。続けて「銅を採取する方法は他にもあるし、最近では都市鉱山(ゴミとして大量に廃棄される家電製品などの中に存在する有用な資源)を有効活用する方法も注目されている。今日の実験は簡単なレベルだったけれども、みんなにはいろいろな視点で資源の再利用を考えてほしい」と述べ、密度の濃い120分の授業が締めくくられました。



「内閣府アドバイザー派遣事業」レポート

「女性は第1子を生むと約7割が退職」にどよめき

～県内各市の男女共同参画委員を対象とした研修会を開催～

名取はにわ講師



11月10日(水)、当センターで「男女共同参画推進のための研修会」を開催しました。

県内各市には、男女共同参画に関する審議会、委員会、協議会などの組織が存在しますが、各構成員の男女共同参画についての知識には個人差があるのが実情です。そこで、各委員に知識を深めていただくことを目的に開催したのがこの研修会で、当日は約60人が参加。講師は、内閣府の元男女共同参画局長で、男女共同参画社会基本法の制定に深く関わった名取はにわさんが務めました。

研修では、平成11年6月に施行された同基本法が制定された背景や男女共同参画の定義について説明。男女の差が埋まるまで女性を優遇するポジティブ・アクション(積極的差別是正措置)については「『(女性を優遇する)逆差別』という声を聞くが本旨はそうではない。誰かを政策決定の場などに1人だけ登用する際、候補が男女1人ずついる場合は女性を選びましょう、というもの」と話し、「日本の場合、決定の場にいる女性の数が

絶対的に少ないのだから、それを改善するためにポジティブ・アクションは必要」と訴えました。

また、男女共同参画が進んでいない我が国の現状を解説。特に女性の就業については「衝撃の事実があります」と前置きした上で「近年、育児休業を取る人は増えましたが、第1子の出産を機に約7割の女性が仕事を辞めていて、この『約7割』という割合はここ20年変わってません。しかも育休制度ができたにもかかわらず、実は出産前後の退職者数は増えてるんです」と実態を披露。多くの受講者がどよめきました。

研修の全スケジュール90分のうち、後半の約30分は質疑応答の時間に充てられ、事前および当日に寄せられた計7つの質問に手際よく回答した名取講師。

受講者からは「委員になったばかりなので勉強になった」「基本法の制定に関わった当事者から話が聞けてとてもよかった」「地域の中で一つ一つ男女共同参画を広げていきたい」などの感想が寄せられました。



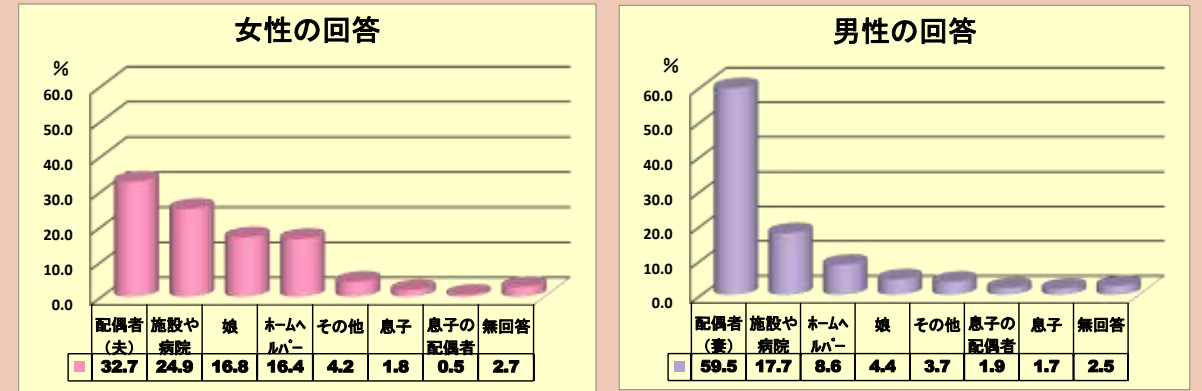
県民意識調査 4

介護してもらいたい人は? 「男性=6割が妻」「女性=分散」

県民意識調査 ■平成21年12月、群馬県では男女共同参画社会についてのアンケート調査を行い、20歳以上の男女1,079人の方から回答をいただきました。主な結果についてシリーズで紹介いたします。

「介護が必要になった場合、だれに介護してもらいたいか」を尋ねました。男性は「配偶者(妻)」(59.5%)への期待がほかを大きく引き離して最も高く、次に「施設や病院での介護」(17.7%)、「ホームヘルパー」(8.6%)の順。一方、女性の場合は「配偶者(夫)」(32.7%)、「施設や病院での介護」(24.9%)、「娘」(16.8%)、「ホームヘルパー」(16.4%)と期待が分散しています。

【介護が必要になったとき、だれに介護してもらいたいか】



セミナーのお知らせ

イクメンでいこう!
1/30日 父親の家庭と仕事のハッピーバランス

子育てのカリスマパパである講師から、父親を楽しむ心構えや家事と仕事のほどよいバランスなどについて学びます。
講師 ◆ 安藤 哲也 さん (NPO法人ファザリングジャパン代表)
時間 ◆ 13:30~15:00
会場 ◆ ぐんま男女共同参画センター
対象 ◆ 次のいずれかに該当する人
①小学6年生以下の子を持つ父親
②近い将来、父親になる予定の男性
※①②とも、夫婦での参加も可
参加費 ◆ 無 料
定員 ◆ 80人 ※先着順
主催: ぐんま男女共同参画センター



1/21日 講談で楽しく学ぶ「ワークライフバランス」
講談~万葉のグランパ・山上億良~
講師 ◆ 渥美 雅子さん (弁護士・女性と仕事の未来館館長)
※高座名は渥美右桜左様 (うおうさおう)
時間 ◆ 14:00~15:30
会場 ◆ 前橋テルサ (前橋市千代田町)
対象 ◆ 県民一般
参加費 ◆ 無 料
定員 ◆ 500人 ※先着順
主催: ぐんま男女共同参画センター・前橋市群馬県地域婦人団体連合会



2/6日 人生、輝いて生きるために
~すべての人に居場所と出番~
講師 ◆ 樋口 恵子さん (評論家)
時間 ◆ 13:30~15:00
会場 ◆ ツインプラザ (吾妻郡中之条町)
対象 ◆ 県民一般
参加費 ◆ 無 料
定員 ◆ 150人 ※先着順
主催: ぐんま男女共同参画センター・中之条町



「女性の再チャレンジ支援セミナー」レポート

電話で話すときも必ず笑顔で!

～再就職を目指す女性の支援セミナーを開催～

清水由美講師



11月19日(金)、当センターで「女性の再就職支援セミナー」を開催しました。

この催しは、出産や育児、介護などの理由で離職した女性の再就職を支援することを目的に実施したもので、当日は22人が受講。子育て中のママたちは子どもをセンター内の託児室に預けて、面接の基礎知識やビジネス上のマナーなどを再確認しました。

セミナーは2部構成。第1部の講師は、要点を押さえたテンポの良い話し方が評判を呼び県外からも講師依頼が寄せられる企業研修講師の清水由美さん。面接時に好感度がアップする「おじぎの仕方」や、面接の予約を入れるための「アポイントメント電話での話し方」などについて丁寧に説明しました。清水さんは「まず第一印象が重要。服装は清潔感を忘れずにジャケットを着用して」、「電話だからと甘く考えてはダメ。表情は見えなくても話すときは必ず笑顔で」、「ビジネスではノックは3回、2回はトイレです(笑)」、「滑舌に自信がな

い人は口を1.5倍開けて話して」など、ビジネス書には書かれていない内容をにこやかにアドバイス。受講者はメモを取ったりうなずいたり、真剣に聞き入っていました。

第2部の講師はキャリアコンサルタントの飯塚俊男さん。「履歴書」や「職務経歴書」を書く際のコツを伝授したほか、「履歴書は必ず手書きで書くこと」や「送り状を添えると効果バツグン」など、再就職を成功させるポイントをパワフルな語り口で講義。最後に

「自分がもし会社の社長だったらどんな人を採用したいか、それを十分考えてから面接に挑んでください」とエールを送りました。



申し込み問い合わせ先
電話、FAX、メール 参加者全員の氏名、住所、年齢、電話番号をお知らせください。
群馬県ぐんま男女共同参画センター 〒371-0026 前橋市大手町1-13-12
TEL:027-224-2211 FAX:027-224-2214
メール: sankakuse@pref.gunma.jp